

HATANO PRESS

発行
**波多野健くんと
未来を考える会**

〒208-0022 東京都武蔵村山市榎3-16-1
TEL 042-563-4339 FAX 042-563-4375
メールアドレス info@ken-project.com

波多野けん 活動報告書

みなさま、いかがお過ごしでしょうか？波多野健です。今月は最近の一般質問から活動報告を2つお届けします。

歩行者も自転車も安全安心なまちづくりについて

近頃、歩行者と自転車の交通事故が社会的な問題として取り上げられています。報道では、ブレーキのついていない自転車の危険性や自転車事故で数千万円の賠償金を支払わなければならない例などが伝えられ、興味深く見えています。一方、市民のみなさんから道路の使い方について多くの意見を伺います。日常、武蔵村山市内を自転車で移動しているからこそ、見えてくる部分もあります。

そこで、今回、「歩行者も自転車も安全安心なまちづくり」と題して、主に武蔵村山市内での歩行者と自転車の事故の現状と対応、自転車専用レーンの設置、保険加入の啓発状況について伺いました。

(市長答弁)

平成25年中の市内での歩行者対自転車の事故は3件発生している。市では、従来から危険な箇所については啓発看板を設置するなどの対応を図っているが、平成23年度からはスタントマンによる「スケアードストリート方式」の実践的な交通安全教室も実施している。

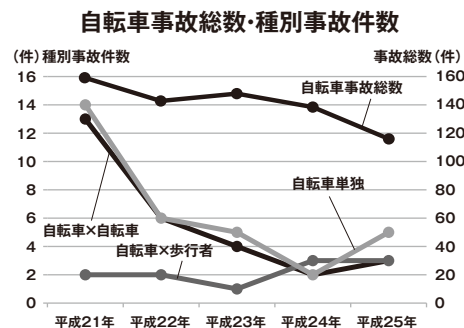
また、自転車専用レーンの設置については、市内で設置可能な路線は、主要市道6号線ほか8路線だが、接続する既存道路の交通状況及び土地利用の状況などから、現在、設置している箇所はない。

次に、自転車保険の加入啓発については、毎年5月の自転車安全利用東京キャンペーン、春と秋の全国交通安全運動でのポスターの掲示やチラシ

の配布、また、夏休み期間に実施している交通安全犯映画会の際にも同様の啓発を行っている。

まとめ

武蔵村山市でも自転車に関する交通安全の環境整備は着々と進めていて、この5年間の



ために、報道などでは自転車専用レーンを設置するなどの取り組みも紹介されていますが、道路幅や交通規制なども考慮しなければならぬため、市内での設置には至っていません。そこで、既に昭島市や東大和市で導入実績がある「自転車ナビマーク」について提案しました。警視庁が導入を進めるナビマークは道路上に自転車が行きやすい部分と進行方向を目安として示すもので、自動車のドライバーにも注意を促す狙いがあります。



自転車ナビマーク



武蔵村山市議会議員

波多野けん

所属し活動している委員会など

- 総務文教委員会 副委員長
- 国民健康保険運営協議会委員 公益代表
- 横田基地の民間機利用促進等に関する調査特別委員会 委員長
- 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会 委員
- 議会改革に関する調査特別委員会 委員
- 保育料検討委員会 委員
- 市議会個人情報保護審査会 委員
- 決算特別委員会(平成25年) 副委員長
- 議会報編集委員会 副委員長
- 予算特別委員会(平成26年) 副委員長
- 武蔵村山市土地開発公社 評議員

全国の自転車保有台数は、平成24年現在、推計で約7050万台「自転車統計要覧(第47版)」(自転車産業振興協会2013)とされ、年々増加しています。子供からお年寄りまで気軽に利用できる移動手段としてだけでなく、地球環境問題の観点から、そして健康志向の高まりからサイクリングなどのレジャーにも利用されています。また、東日本大震災直後の公共交通機関の運休などで、自転車での通勤が増えたことを背景に、災害時でも利用できる移動手段として利用価値が高まっています。自転車を取り巻く道路環境整備をさらに進めなければならないと考えています。

戦後約70年が経過する中で、将来を見据えた平和事業のあり方について

太平洋戦争が終わったのが1945年、まもなく戦後70年を迎えようとしています。武蔵村山市は「平和の集い」講演会や映画会を通して、平和の尊さや戦争の悲惨さを市民に伝え、理解を深めて頂き、これまでも一定の成果を上げています。しかしながら、戦後およそ70年、戦争体験の継承が大きな課題になっているのはいうまでもありません。これは、武蔵村山市固有の問題ではなく、全国的な問題ですが、武蔵村山市の、次の時代を担う若い世代に戦争体験を正しく継承して平和の尊さを知ってもらうためには、新たな取り組みが必要と考えています。

そこで、戦争体験者の証言・語りを残す方法は何かないか？先日、広島平和記念資料館に一人、取材に向かいました。学生の時代からですから、見る角度も違いますし、改めて平和の尊さを実感してきました。広島市の平和記念資料館には被爆者300人の証言が映像になつている「平和データベース」というのがあります。今回はそれを基に質問しました。「平和の集い」の参加人数など現状、そしてこの事業を展覧させていくためには、戦争体験者などの語りや映像として保存するなどの事業が必要だと思っています。市の考えを伺いました。



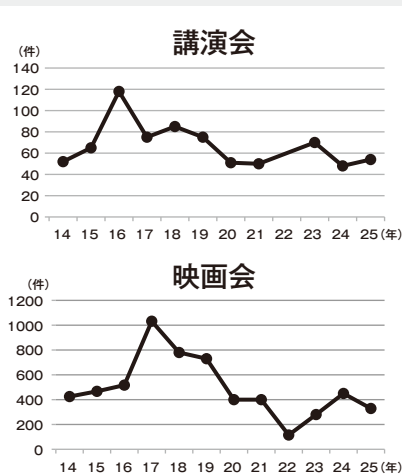
(市長答弁)

平和事業については、これまでも平和の集いとして映画会、戦争体験者による講演会などの事業を行い、平和の尊さについて市民とともに考え、平和意識の醸成に努めてきた。平成25年度の平和の集いの参加人数については、映画会が329人、講演会が54人だった。また、平和の集いで御講演いただいた方々のお話しを取りまとめた冊子を作成し、図書館で貸し出しすることなどにより、戦争体験者の語りを保存活用する取り組みも進めている。

ご質問の映像として保存する取り組みについては、今後、平和事業の見直しを行う際に、研究してみたい。

まとめ

平和の集いには「講演会」と「映画会」があり、映画会は上映する映画によって左右されますが、現在の形式になった平成14年以降、参加者は減少傾向にあります。



戦後まもなく70年。当時の現役世代は90歳代で、戦争体験者による講演会は

今後、体験者の方が高齢になったり亡くなったりして、事業展開が難しくなっていくことが考えられ、市も現在の講演会の方式をこのまま継続していくことは困難になることを認識しています。

「映像による戦争体験者の語りの保存・活用」の取り組みについて、具体的には●戦争体験者などに体験を話していただいで、その様子を映像として残す。●撮影したものを図書館で見出しを付ける。●将来、映像が活用できるように編集せず保存。●戦争体験を聞ける方も年々減少している。なるべく早く実行を。を提案しました。

撮影したものは編集せず保存しておく必要があると考えています。では、将来どう使えるのか？「平和の集い」の映画会で使っても良いでしょうか、学校の教材として使うのも良いでしょうか。いま限定した使い方を考えるよりも、将来もつと良い方法が考えられるかもしれないので、いまは編集せずに、今の語りをとっておくことが必要なのではないかと思っております。いまするべきことは、「体験者の声を、映像を残すこと」です。

武蔵村山独自の戦争資料として保存しておけば、後世の人達がさらに良い使い方を考えてくれるはずですよ。

そのためには今、すぐにでもできること、体験談を残しておくことが必要だと考えています。

また、第一中学校東側の殉国慰霊塔で足を止めて平和の尊さを考えてみてはいかがでしょうか。

波多野けんプロフィール

1973年3月15日武蔵村山生まれ
 武蔵村山市立第九小学校 卒業
 武蔵村山市立第一中学校 卒業
 帝京八王子高等学校 卒業
 杏林大学保健学部臨床検査技術学科 卒業
 杏林大学大学院保健学研究科博士前期課程 修了

アナウンサー・キャスター・ジャーナリスト
 株式会社 エフエムラジオ新潟アナウンサー
 (2001年4月～2004年6月)
 株式会社 生島企画室所属キャスター
 テレビ・ラジオを中心に報道からエンターテインメントまで

資格:臨床検査技師免許、普通自動車免許、保健学修士
 好きな食べ物:村山うどんなど炭水化物

村山うどんの会副会長
 村山デエダラまつり元総合プロデューサー

波多野健くんと 未来を考える会事務局

〒208-0022 東京都武蔵村山市榎3-16-1
 TEL 042-563-4339 FAX 042-563-4375
 メールアドレス info@ken-project.com
 twitterID http://twitter.com/ken_hatano

www.ken-project.com